

社会福祉学部 私費留学生

氏名： 沈 君浩 (ちん くんこう)

国籍： 中国



高知県立大学で学んで

高知県立大学に留学してからはほぼ9ヶ月が経ちました。この9ヶ月間の中で大変なこともあったし、楽しかったこともあったし、全てのことが私を成長させてくれました。だから今振り返ると高知県立大学に入学してよかったと痛感しました！

今は1回生なので、授業は基本的に「共通教養教育科目」と「専門教育科目」が並行して行われています。「共通教養教育科目」を通して留学生の私にとって異質な価値観や文化などについて学習して将来社会人としての教養を身につけています。例えば魅力ある高知の文化や高知が今抱えている諸問題、さらに高知ではなく日本全国でも共通の世相などです。「専門教育科目」を通しては、社会福祉を学ぶ者として基本的に身につけるべき知識などを学んでいます。例えば、「現代社会と福祉」・「社会保障論」・「社会福祉基礎演習」など現代社会における社会福祉および社会保障の理念や意義、役割などの基本を学んでいます。

入学してから深く感慨したことは沢山あります。授業の時、先生は時々これまで社会福祉士国家試験に出題された問題を選び出して学生にやらせることがありましたが、とても印象に残っています。4回生になって過去問を丸暗記にするより1回生の日頃から少しずつ知識を着実に積み上げていくのは大事だと心がけています。

他は1回生前期が終わったとたん、地域学実習が入りました。実習の過程中テキストから学べないことを学ぶことが出来ます。現在、地域学実習は終わりましたが、実習を通して学んだ知識や経験をどのように活かせるかはずっと考えています。

生活面については、高知県立大学の教員先生たち、高知県立大学国際交流課の諸方のおかげで生活は順調です。自分が弱い立場になることで、周りの親切を心からありがたく感じることは言い切れないと思います。

高知は美味しいものがいっぱい、自然風景が豊か、人と人の心の距離感が近い、住み心地が良いところです。

高知県立大学で知識を学べるだけではなく、自分の価値観も少しずつ変わっていて、視野も広がっている。ずっと「流暢な語学や特定の資格が取れない留学は無意味」と思っていて、高知県立大学は自分の夢を叶える為に支えてくださることに感謝です！これからも自分なりに頑張っていきたいと思います！